

社内の理解を得る

建設業 外国人雇用

建設業向け人材派遣・紹介サービスのウィルオブ・コンストラクション（東京都新宿区）と、建設業向けにクラウド型業務管理システムを提供しているCONOC（東京都渋谷区）は、セミナー『外国人雇用の注意点をわかりやすく解説』を8月27日にオンラインで開催した。

ウィルオブ・コンストラクション戦略推進部BIMソリューショングループの金谷亮佑氏は、技能実習・特定技能・高度人材の3つの外国人採用形態の基礎知識を説明して、「従来の技能実習制度は技能移転の国際協力の名の下に、実態は“労働力”の受け入れとの批判があり、27年度には新規の実習計画の受け付

けが終了する。新たに始まる“育成就労制度”の目的は正式に“人材確保”とされた。一定要件の下で、転籍（転職）も柔軟に運用できる」と解説した。その上で、各社が円滑に迎え入れる際の注意点として、「中途採用者は無料アプ

リなどで在留カードの偽造の有無、履歴書で関連学科の学歴、職務経歴書で前職の内容を確認する。安易に、安価な労働力の補充ではなく、目的を明確化させ、社内での理解を得る。将来を見据えたキャリアパス・アップの事前設計が重要になる」と強調した。